

問1	1956年に日本とソ連が調印した日ソ共同宣言に関する記述として、外交上の背景や成果を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2023年 香川県公立入試 類似）			
	1. 日米安全保障条約を改定し、日本とアメリカの対等な協力を確認した。	2. ソ連の支持を得ることで、長年の懸案であった国際連合への加盟が承認された。	3. サンフランシスコ平和条約を締結し、連合国による占領が終わって主権を回復した。	4. 中国との間で戦争状態の終結を確認し、政府間の外交関係を樹立した。
問2	昭和初期の戦時体制下において、砂糖などの生活必需品に対して「配給制」が実施された理由として、最も適切なものはどれですか。（2026年 徳島県公立入試 類似）			
	1. ラジオ放送を通じて新商品の宣伝を行い、市場での売買取手を活性化させるため。	2. 物資が著しく不足する中で、国民に必要な品を公平に分配し、消費を統制するため。	3. 外国からの輸入量を急速に増やし、家庭での甘味料の消費を促進させるため。	4. 高度経済成長に合わせて、国民が自動車などを購入するための資金を節約させるため。
問3	第二次世界大戦後の改革において、連合国軍総司令部（GHQ）が、労働組合の結成を認める政策や農地改革とともに「経済の民主化」の柱として実施した政策は何ですか。三井や三菱など、戦前の日本経済を支配していた大規模な同族企業集団を解体した取り組みを答えてください。（2023年 京都府公立入試 類似）			
	1. 財閥解体	2. 農地改革	3. 国家総動員法	4. 独占禁止法
問4	第二次世界大戦後の世界において、アメリカを中心とする陣営とソビエト社会主義共和国連邦を中心とする陣営が、直接的な武力行使は避けながらも、軍拡競争や政治的な対立を深めていった国際情勢を何と呼びますか。（2021年 鳥取県公立入試 類似）			
	1. 冷たい戦争（冷戦）	2. 日露戦争	3. 湾岸戦争	4. 第一次世界大戦
問5	1951年にアメリカの都市で行われた講和会議において、当時の内閣総理大臣が多くの関係者に見守られながら署名したサンフランシスコ平和条約に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）			
	1. この条約の締結によって日本は連合国による占領を終え、主権を回復して独立を果たした。	2. この条約は第一次世界大戦の戦後処理を目的としており、日本の国際連盟への加盟が認められた。	3. この条約によって日本と中国の国交が正常化し、両国間の戦争状態が正式に終結した。	4. この条約は日清戦争の講和条約であり、日本が下関で清の代表と領土について合意したものである。
問6	第二次世界大戦の終結から間もない1949年、日本人として初めてノーベル物理学賞を受賞し、敗戦後の混乱期にあった日本国民に大きな自信と希望を与えた人物は誰ですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）			
	1. 野口英世	2. 川端康成	3. 北里柴三郎	4. 湯川秀樹
問7	1950年代後半から1970年代初頭にかけての日本では、経済が飛躍的に発展しました。1960年代から1970年にかけての耐久消費財の普及率を示す統計において、白黒テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機の普及率がいずれも90%前後に達したこの時期の名称と、普及したこれら3つの家電製品の呼び名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2024年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. バブル経済・三種の神器	2. 高度経済成長・三種の神器	3. 高度経済成長・新三種の神器（3C）	4. 安定成長期・三種の神器
問8	1972年の日本の外交において達成された二つの大きな出来事とその歴史的意義についての記述として、最も適切なものを選びなさい。（2026年 熊本県公立入試 類似）			
	1. 日韓基本条約の調印によって韓国との国交が正常化し、東南アジア諸国連合が設立された。	2. サンフランシスコ平和条約の締結によって主権が回復し、国際連合への加盟が同時に認められた。	3. 日ソ共同宣言の調印によってソ連との国交が回復し、北方領土の返還が実現した。	4. 沖縄の日本復帰によって戦後の領域問題に一つの区切りがつき、日中共同声明により隣国との正式な外交関係が再開された。
問9	1967年に結成された東南アジア諸国連合（ASEAN）の目的と当時の状況について述べた説明として、正しいものを選択してください。（2023年 宮城県公立入試 類似）			
	1. 太平洋戦争の終結直後、日本の経済発展を支援するための枠組みとして結成された。	2. 第一次世界大戦の反省に基づき、アジア全体の経済封鎖を目的として結成された。	3. 朝鮮戦争の休戦を受け、社会主義国を中心とした軍事同盟として結成された。	4. ベトナム戦争を背景に、地域の平和と安全、経済成長の促進を目指して結成された。
問10	1951年に結ばれたサンフランシスコ平和条約について、講和会議には出席したものの、アメリカ主導の条約内容に反対して調印しなかった国はどこか。（2024年 青森県公立入試 類似）			
	1. オランダ	2. フランス	3. ソ連	4. イギリス
問11	1951年のサンフランシスコ平和条約締結後、日本は周辺諸国との国交を順次回復・正常化させていきました。これら主要な外交上の出来事を、年代の古い順（時系列）に並べたものとして正しい組み合わせを選びなさい。（2017年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 日米安全保障条約の署名 → 日韓基本条約の締結 → 日中共同声明の調印	2. 日米安全保障条約の署名 → 日中共同声明の調印 → 日韓基本条約の締結	3. 日中共同声明の調印 → 日韓基本条約の締結 → 日米安全保障条約の署名	4. 日韓基本条約の締結 → 日米安全保障条約の署名 → 日中共同声明の調印
問12	1973年に勃発した第四次中東戦争を直接のきっかけとして、産油国が原油価格の引き上げや輸出制限を行ったことで、世界経済が大きな混乱に陥った出来事を何と呼びますか。（2022年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 世界恐慌	2. バブル経済	3. 石油危機（オイルショック）	4. ブラザ合意
問13	日本の戦後の歩みにおいて、高度経済成長期のさなかにあった1968年に起きた文化的な出来事として正しいものはどれですか。（2024年 山口県公立入試 類似）			
	1. 夏目漱石の肖像が、初めて千円札の図案に採用された。	2. 大江健三郎が、日本人として2人目のノーベル文学賞を受賞した。	3. 湯川秀樹が、日本人として初めてノーベル物理学賞を受賞した。	4. 川端康成が、日本人として初めてノーベル文学賞を受賞した。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 ソ連の支持を得ることで、長年の懸案であった国際連合への加盟が承認された。	日本は1951年に多くの国とサンフランシスコ平和条約を締結しましたが、ソ連とは調印していませんでした。安全保障理事会の常任理事国であったソ連と国交を回復し、日本の加盟に対する支持を取り付けたことで、ついに国際連合への加盟が認められました。
問2	答え 2 物資が著しく不足する中で、国民に必要な品を公平に分配し、消費を統制するため。	太平洋戦争に向かう戦時体制下では、物資の不足や軍需への集中により国民生活に必要な品々が手に入りにくくなりました。そのため政府は、砂糖や米などの生活必需品を偏りなく国民に分配し、計画的に消費を管理するために配給制を実施しました。
問3	答え 1 財閥解体	戦前の日本経済において、特定の有力な家族が経営する巨大資本（財閥）が多くの産業を支配し、軍部と密接に結びついていたことが戦争の要因の一つになったと判断されました。GHQは、これらの企業集団を強制的に解散させることで、公正な競争ができる環境を整え、経済の仕組みを根本から民主化しようとした。
問4	答え 1 冷たい戦争（冷戦）	第二次世界大戦後、アメリカを中心とする西側陣営とソビエト社会主義共和国連邦を中心とする東側陣営が対立したこの状態を「冷たい戦争（冷戦）」と言います。互いに核兵器などの強力な軍備を保有していたため、直接的な大規模な戦争は避けられましたが、政治的・経済的な争いや、世界各地での局地的な紛争が絶えない緊迫した状況が続きました。
問5	答え 1 この条約の締結によって日本は連合国による占領を終え、主権を回復して独立を果たした。	第二次世界大戦後、日本は連合国軍の占領下にありましたが、1951年にサンフランシスコ平和条約を締結したことで、国際社会への復帰が認められました。これにより、日本は失っていた主権を回復し、再び独立国家としての歩みを始めました。下関条約は日清戦争、日中共同声明は1972年の出来事であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 4 湯川秀樹	1949年に中間子理論の研究成果が認められ、日本人として初のノーベル賞を受賞しました。当時、日本は連合国軍の占領下にあり、科学技術の分野で世界的な評価を受けたことは、戦後復興を目指す日本社会にとって象徴的な明るいニュースとなりました。
問7	答え 2 高度経済成長・三種の神器	1950年代後半から始まった高度経済成長期には、国民の所得が増えたことで生活を便利にする家電製品が急速に家庭へ普及しました。当時、生活水準の向上を象徴するアイテムとなった白黒テレビ、電気冷蔵庫、電気洗濯機は、日本の神話になぞらえて「三種の神器」と呼ばれました。なお、1960年代後半から普及したカラーテレビ（Color TV）、クーラー（Cooler）、自動車（Car）は、頭文字をとって「3C」や「新三種の神器」と呼ばれます。
問8	答え 4 沖縄の日本復帰によって戦後の領域問題に一つの区切りがつき、日中共同声明により隣国との正式な外交関係が再開された。	1972年は佐藤栄作内閣のもとで沖縄返還が実現し、同年の田中角栄内閣のもとで日中共同声明が調印されて国交正常化が果たされた重要な年です。これにより戦後の大きな外交課題が達成されました。
問9	答え 4 ベトナム戦争を背景に、地域の平和と安全、経済成長の促進を目指して結成された。	ASEANは冷戦下における地域紛争の回避と、加盟国間の経済的自立を目的として誕生しました。当時、東南アジアではベトナム戦争による社会的不安が広がっており、それに対抗するために各国の結束が求められました。単なる経済協力だけでなく、地域の安全保障を重視した側面が強いのが特徴です。
問10	答え 3 ソ連	東西冷戦が激化する中、社会主義陣営のソ連（ソビエト連邦）は、ポーランドやチェコスロバキアとともに会議に出席しましたが、アメリカ中心に進められた講和に反対し、調印を拒否しました。イギリス、フランス、オランダなどの西側諸国は調印しています。
問11	答え 1 日米安全保障条約の署名 → 日韓基本条約の締結 → 日中共同声明の調印	日本は1951年にサンフランシスコ平和条約を結んで主権を回復した際、同時に日米安全保障条約に署名しました。その後、1965年に佐藤栄作内閣のもとで日韓基本条約を結んで韓国との国交を回復し、1972年には田中角栄内閣のもとで日中共同声明を発表して中国（中華人民共和国）との国交を正常化させました。なお、ソ連との国交回復（日ソ共同宣言）は1956年であり、これらの中間に位置します。
問12	答え 3 石油危機（オイルショック）	第四次中東戦争によってアラブ石油輸出機構（OAPEC）が石油戦略を発動し、原油価格が急騰しました。これにより、エネルギー資源を輸入に頼っていた日本などの先進工業国は激しいインフレに見舞われ、経済が大きな打撃を受けました。
問13	答え 4 川端康成が、日本人として初めてノーベル文学賞を受賞した。	1968年は日本が経済的に世界第2位のGNP（国民総生産）を達成した時期であり、同時に川端康成のノーベル文学賞受賞という文化的な快挙が重なった年です。湯川秀樹の物理学賞受賞は戦後間もない1949年であり、混同しないよう注意が必要です。また、大江健三郎の文学賞受賞は平成に入った1994年です。